

7月22日（水）本年度第4回（通算 第2785回）

新入会員卓話

担当/プログラム委員会 18時30分～釧路プリンスホテル

◆出席報告【会員総数 74名 免除 6名 出席計算に用いた会員数 74名】

本日の出席率 出席者 42名 メーキャップ 0名 出席率 56.8%

前々回の修正出席率 出席者 34名 メーキャップ 0名 出席率 52.3%

◆ニコニコ献金（今年度累計 71,000円）

- ・5名の新入会員の皆様ありがとうございます。
新入会員卓話、楽しみにしております ～佐渡 正幸君
- ・本日の例会よろしくお願ひ致します ～中島谷 友一朗君
- ・松原さん有難うございました ～石井 東洋彦君
- ・卓話よろしくお願ひ致します ～大友 淳君
- ・本日、新入会員卓話よろしくお願ひ致します ～川村 真一君
- ・5名の入会おめでとうございます ～北川 健二君
- ・新入会員の皆様、おめでとうございます
～工藤 健司君、富樫 孝之君、新妻 繁市君、萩原 昭博君、本間 弘人君
- ・新入会員の皆様、入会おめでとうございます。真ちゃんが頑張って！～坂入 信行君
- ・ありがとうございます ～迫田 武君
- ・30代最後です。39歳になります ～多田 洋平君
- ・新入会員の入会おめでとうございます。私も31年目となりました ～田村 憲一郎君
- ・大変ご無沙汰しておりました ～丹羽 芳広君
- ・5名の新入会員お祝い申し上げます ～中嶋 嘉昭君
- ・新入会員卓話が頑張って下さい ～平井 昌弘君
- ・大友委員長、本日もよろしくお願ひ致します ～平澤 利秀君
- ・本日の司会よろしくお願ひします ～福田 雅嘉君
- ・初ニコニコです。本日よりお願ひします ～水野 光輝君
- ・本日もよろしくお願ひ致します ～横田 國勝君

◆会長挨拶

《佐渡会長》



皆さんこんばんは、本日も例会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
本日のプログラムは、新入会員卓話と言う事で、萩原年度の入会であり、川村会員、水野会員、伊勢会員の卓話となっておりますのでよろしくお願いいたします。

新入会員卓話は、新入会員の一つの登竜門となっておりますので、是非ともこの場で修練をしていただけたらと思います。そして、本日5人の新入会員が入会と言う事で、本当に嬉しく思っております。先ほどオリエンテーションで、松原パスト会長から1時間講演をしていただきました。私もその横でお話を聞かせて頂きましたが、丁度16年前に私の入会の時も、当時会長でした松原パスト会長にして頂いた記憶がふつふつと湧いてき

ました、その時と本当に同じ話で、正にロータリーの歴史からロータリーとは？という部分をお話して頂きました。新入会員の皆様にとっては、何の事かなとたぶん思っていると思いますが、やはりこれから、一所懸命に出席頂いて、会員の皆様と親睦、そして奉仕活動をしていく中において、今日の松原パスト会長のお話が、必ずやフィードバックして素晴らしいロータリアンになって頂ける事を心から願っている次第で御座います。色々と皆様は、ほかの団体などに所属しておられますので、会の雰囲気と言う部分は、ある程度理解されていると思いますが、またロータリーはロータリーで一つの用語とか儀式とかそういう物が御座いますので、是非ともそういう部分についても、慣れて頂き、一日でも早く素晴らしいロータリアンになって頂いて、そして長い間一緒に活動して行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

さて、表敬訪問についてですが、今週の火曜21日に第8分区の浜中RCに幹事と二人で表敬訪問に行きまして。それまでの、第7分区の表敬訪問と言うのは、皆様もご存知の通り各クラブの会長・幹事が出席して、30分間のプログラムの中で挨拶させて頂きました。今までの歴史の中、1968年に浜中RCが出来まして、私が1967年生まれですのでほぼ私が生まれた時から浜中RCが47、8年間歩んできた歴史と、やはり道下パストガバナーと言う非常に大きな存在の中で、本当に第8分区においても地域そして地区においても、本当に素晴らしい活動をしていると言う部分を12人と言う少ない人数で行っているクラブなのですが、和気藹々として、しかしながら本当に真剣にロータリー活動をしていると、改めて感じましたので、私たちのクラブに是非ともフィードバックして行きたいと思っています。

今日で会長が始まって4回目の例会ですが、本当に充実した毎日を過ごさせて頂いております。今日も新入会員が5名入会頂きまして、会員の皆様からようこそ！という言葉がと絶えず握手の中から生まれるという風景は、非常に会としても明るい兆しもあり、会の活性化にも繋がって行くものと思っております。今年度の目標、会員増強15名と掲げて活動させて頂いておりますので、残り11か月皆様と力を合わせて、10名の会員拡大、そして0名の退会者と言う目標に向かって是非ともお力をお借りしたいと思っております。それでは、本日も一日どうぞよろしくお祈りいたします。ありがとうございました。

◆幹事報告

《中島谷幹事》



パーソナルボックスへ1点

・10月16日（金）～17日（土）旭川地区大会のスケジュール
回覧として4点

1.（公財）ロータリー米山記念奨学会より「ハイライト米山」。

米山学友から3人目のガバナーが誕生した記事が載っております。

日本のロータリアンの皆様への感謝のお言葉も記述されておりますのでご一読願います。

2. 8月5日（水）のガバナー公式訪問のご案内。

12：30～の公式訪問例会はもちろんですが、前段の11：00～行われますクラブ協議会にも理事・役員以外の皆様にはオブザーバー参加していただきますようお願いいたします。

3. 釧路北ローターアクトクラブより7月第二・第三例会の案内

第三例会はパークゴルフ例会となっておりますので、多くの皆様で参加をして親睦を深めたいと思います。

4. 10月16日（金）～17日（土）旭川で行われます「地区大会」の案内。

例年よりスケジュールが変更になっていきますのでご確認をください。

（大会が2日間に縮小）

宿泊手配の関係上、来月早々にも参加の取り纏めをFAXさせていただきます。

報告（口頭）

- ・9月4日（金）～6日（日）開催のライラセミナーに当クラブより会長、幹事、鈴木青少年委員長の3名、釧路北ローターアクトより、（株）ウィンドヒル様の中島君、松山君の2名、合計5名で参加してまいります。

新入会員卓話

◆プログラム委員会

《大友委員長》



本卓話を担当するプログラム委員会の大友です。

本日は新入会員卓話と言う事で、3名の会員の方に卓話をお願いします。

それでは、ご紹介いたします。まず、伊勢佳訓君、職業分類は動物病院、入会日は平成26年11月19日、続きまして、川村真一君、職業分類は自動車販売整備、入会日は平成27年2月18日です。もう一方、水野光輝君、職業分類は生命保険、入会日は平成27年5月13日です。今まで3名とも、例会、行事を通して、皆様とコミュニケーションをとってきていると思いますが、今日の卓話を一つのきっかけとして、さらに皆さんと親睦を深めて頂ける事をご期待しております。それでは、入会日の順番で行いたいのですが、伊勢君が遅れているため、川村君、水野君の順番でお願いします。

川村真一君



改めまして、皆さん今晚は、2月に入会いたしました、河村真一です。本日は新入会員卓話と言う事で、私の事を赤裸々にお話しさせて頂きたいと思います。1976年6月9日、釧路市の緑が岡で生まれ、3歳の時に釧路町に移り住んでおります。最初に自分の性格をネット等で犬を飼うときにその犬の飼いやすさ等が出ています。おっとりしているとか、そんな感じで自分なりに分析しましたので、お話しさせていただきます。分類は大型犬、性格はおっとりして、食欲は旺盛で主人に忠実、汗をかきやすく冬に強く、夏に弱い。注意事項としては、こまめに風呂に入れてあげてください。もう一つ、寂しがり屋なので声を掛けてください。こんな感じの性格でございます。幼少時代に釧路町の若葉と言う所は、原野と言うか、草ばかり生えている所が多くどぶ川も流れていましたので、そこでザリガニ釣りをしたり、建築屋さんの土場から、ベニヤ板を貰い基地を作ったりと、そんな幼少時代を過ごしていました。小学校に入ると、野球とアイスホッケーを始め、スポーツをして過ごしていました。趣味も、釣りとか、プラモデルなどをずっとやっておりました。小学校4年の時に父親が独立しまして、今思えばその時から、少し生活が苦しくなっていた様

に感じます。父親も母親も苦勞して、男3人兄弟を育てて頂いたと感じております。貧乏という言葉は使ってはいけないと思っておりますので、本当に辛抱の時代を子供たちにはそんな思いをさせずに育てて頂きました。そのころから、色々と悪いことを覚えてきて、私は長男で、1歳年下に弟がいるのですが、その弟がまず先に悪いことを覚えて来んです。その頃に41年生きてきて、一度だけこれは死ぬと思った事があるのですが、父親に悪いことをしたことがバレてしまい、夏場にすぐ近くのホッケーリンクの中を、「永遠にダッシュしろ」と言われ、真っ暗の中親父がホッケースティックを持って追いかけてくる訳です。私と弟は、ランニングではなく、全力のダッシュをさせられ、少しでも遅くなると、尻をそのスティックで叩かれ走らされ、その時に本当に死ぬと思いました。その後家へ戻り、部屋の端から端まで飛ぶような、ピンタを貰いました。その後は、同じように悪いことを繰り返していましたが、少しずつ落ち着きまして、釧路工業高校の機械科に行かせていただきました。部活に入らず帰宅部でしたが、家業を継ぐのだと思いながら3年間楽しく過ごさせていただきました。高校卒業の時に担任に相談したところ、家業を継ぐ気があるのであれば、短大に行き資格を取ったほうが良いよと言われ、北海道自動車短期大学に進みました。その2年間の間で2級整備士の資格を取らずに卒業する事はありませんでしたが、試験が卒業間近の3月の為に2年間楽しく過ごしました。その後の進路を卒業の時に先生方に相談したところ、すぐに家業を継ぐのは解るが、まずは、よそで修業したほうが良いよと助言を頂き、父親とも相談したのですが、修業せず直ぐに家に来て働いてくれと言われました。後から解ったのですが、釧路で2級整備士を取って帰ってくる二十歳の人間はすごく貴重な人材で、各ディーラーから「うちに来ないか」と来ていたみたいですが、父親が勝手にすべて断っていました。今思うとその時点で親父に自分の進路は決められたと思いますが、親父がそれをやってくれたので、迷うことなく今の家業に進めたので良かったと思っております。そして二十歳の時に働き出し、親の元と言う事もあり怖いもの知らずで、直ぐに板金・塗装を覚えることができました。24歳で結婚し、27歳で一人目の子供を授かり、仕事も生活も充実しておりましたが、30歳の時に、親父の会社を辞めることになりました。私の父親は、会社経営者としてはどうかと思いますが、職人としては一流で、人の好きさというのは、人を騙したことがない、言い換えればお人好しで騙されやすく、その頃、その会社もある程度仕事量もあり、安定していましたが、色々な方に色々騙され続けていて、最終的には詐欺にも引掛りました。私はその頃、建築の会社に居ましたが、親父の会社が危なくなっていることを聞き、色々な方に相談しました。そして、相談した方々から「この会社には顧客が多くいるから、まだ再建できる」と言っていただき、ただその条件として、私が会社に戻り一緒に立て直すことが必要だと言われ、32歳の時に会社に戻り、今の社名にして、株式として法人を設立しました。会社に戻った時は、父親と私と従業員が一人の3人で仕事をしていました。その時は、昼間に板金や塗装等の仕事をして、夜には営業に行くと言う事を1年と少し続けた結果、数字も少しずつですが、上がっていき、仕事量も多くなってきましたので、また徐々に従業員を増やして行き、今の会社の状態になりました。34歳の時に釧路青年会議所に入会させて頂く事となりました。その事は私の人生の一つの転機となりました。青年会議所に入る前はかなりゴルフに行っていました。ラウンド数は年間15回くらいでしたが、スコアは80前半で回っておりました。その時は80後半なんて絶対叩かないだろうと思っていました。青年会議所に入会してからは、年に1~2回しか行けなくなりました。青年会議所では太れば太る

ほど、認められるというか「やっているんだぞ」と見てくださる方がいまして、中島谷さんが理事長時代に大変お世話になり、入会した年は、80 kgの体重が105 kgまで太り、その2年後には110 kgに、3年目に専務理事を受けた時には、118 kgになっておりました。自分でもこれは止まらないと感じました。その時は体中の皮膚という皮膚がパンパンで、これ以上伸びないと感じるころまでなってしまう、スーツも2ランクアップしましたが、痩せる暇がないと言ってしまえば、太っている人の特有の言い訳にしか聞こえないのですが、本当に食べない暇がないと言うか、飲まない日が無いという生活を続けさせて頂きながら、友情を深めさせて頂きました。その友情を深めた結果がこのような体になったと思っております。昨年は青年会議所の理事長を受けさせて頂きました。その時は110 kgまで体重が落ちており、そして今は103 kgになっています。最近気が付きましたが、今のゴルフのスコアが体重と同じ大体102~103なので、80前半のスコアを出すには、体重もそこまで落とさないとならないと思っております。

最後に本日5名の皆さんに入会して頂き、やっと私にも後輩が出来ましたので、襟を正して活動して行きたいと思っております。

5名の新入会員の皆様、解らない事が有りましたら、私に何でも聞いて下さい。解らない事は、答えられませんが、解ることはお伝えします。そして100%出席をぜひ目指して頂きたいと思っております。

以上で卓話を終了いたします。ありがとうございます。

水野光輝君



皆さん今晚は、水野です。よろしくお願ひします。

本日、入会頂きました5名の皆さんおめでとうござひます。先ほど、大友委員長より紹介頂いた通り、私も5月13日に入会させて頂きまして、まだ2か月でござひますので、同期になるのではなかろうかと思ひますので、よろしくお願ひします。

早速ですが、今日の卓話で何を話そうかと思ひていましたが、川村さんのお話を聞いて、こういく話も良かったなと思ひましたが、一応準備をして来ましたので、そちらを披露させて頂きまひす。

私が釧路に来ましたのが、4月1日と言う事で、それまでは明治安田生命の本社のある、丸の内のビル27階の業務部の職域開発推進部と言う所に居ました。何を行っている所かと言ひますと、全国の各営業職員さんが、皆様の所にもお伺ひしていると思ひますが、色々な企業にお仕事をさせて頂けるように、折衝したりする部署でござひまして、私の担当していたのは、11の重要団体でござひまして、例えば東京都庁様、東京消防庁様等の都内の官庁関係を、担当しておりましたが、実はその中で、今日も新聞に大きく載っていましたが、東芝さんを担当しておりました。当時の東芝さんの担当者様と、色々なお付き合いがありまして、今はどうしているのかと個人的に思ひておりました。昨年、浜松町の近くに大きな東芝ビルがあったのですが、急遽そのビルは撤退するので、許可証を返還したという経緯があり、東芝さんどうしたのかなと思ひておりました。そのビルを売却したと言う事があつて、今この様な事が起こつて、大変だったのだと感じているしだいでござひます。

これから、お話をする事もお恥ずかしいことなのですが、当社もご承知の通り数年前に保険金の不払いと言う不祥事がござひまして、明治安田生命が一番、最初にお叱りを受けた事がござひました。当時、私は労働組合の仕事をしておりました。従業員が現地の皆様よ

り、お叱り受けて、そういう事の組合員からの意見を聞いて、会社のほうに抗議したと言う事などがあった訳でございます、それから当社は「お客様のために」と言う所を全面に出して、当時の社長そして、昨年度、また社長が変わり、新しいビジョンを出してきました。どういう、保険会社にしたいのかと言う所で、「感動を生み出す生命保険会社」と言うものを目指して日夜、取り組んでおります。生命保険で感動を見出すと言う事は、どういう事なのかと、職員も解らないままでのスタートだったのですが、「NEXT チャレンジ」の中に7つ挙げまして、まずは経営理念を再確認してくださいと言う事で、「お客様には確かな安心と豊かさを届ける」と言う所の「豊かさを届ける」と言う抽象的な事でございますが、今あらゆることをさせて頂いておりますが、ただ生命保険を届けるのではなく、例えば、今Jリーグを協賛させて頂いております。4年契約で、J1・J2・J3すべて協賛させて頂いております、釧路に来まして、釧路の場合、どちらかと言うとアイスホッケーなのだと感じておりますが、会社のほうでJリーグを協賛しておりますので、無視はできませんので、今度、10月30日にプリンスホテルでサッカー解説者の中西哲夫様をお呼びして講演を開き、皆さんに楽しんで頂きたいと思っております。あと、サッカー教室等も行っていきたいと思っております。そのほか色々な豊かさを届ける様な事を会社として考えて行きます。

続いて、CSRの高度化と言う事で、「お客様との絆」そして「社会環境との絆」「従業員との絆」をさらに深めて行くと言う事、そして「NEXT チャレンジ」に支えるクオリティ、現在の状況に甘えることなく、未来に向けて力強く発展させて行きましょうと言う事、そして、感動サービスと言う事で、対面で愛と想いをお伝えしますと言う事で、年に数回、全国よりアドバイザーと代表する職員を集め、お客様に感動して頂く為には、どうしたら良いかと会議を行っていきまして、色々な事例を発表し、その中で、お客様に喜んで頂いている事例を持ち帰り、そう言うサービスを届ける事などを行っていきます。

また、医療保険、介護分野の方は、時効が減少して高齢社会が進む中、介護分野医療保険の重要性が大きくなってきておりますので、その厚みを増すと言う事掲げております。

最後ですが、人材こそ当社の最大の経営資源と言う事で、まずお客様に安心を提供する人間は誰かと言うとやはり、営業職員です。その営業職員満足していただく会社を目指す。そうすることにより、お客様に沢山の満足を提供できるという事から、「NEXT チャレンジ」と言うものを掲げております。明治安田生命は冒頭でお話した、不祥事があって、今は何とか皆様から顧客満足度60%近い数字を頂いておりますが、しかし40%のお客様からは満足を頂いておりませんので、現地にいる我々が、地域の皆さんと一緒に、そして地域を盛り上げて行き、満足いただける様な会社に行きたいと思っております。

以上ですが、ありがとうございました。

伊勢佳訓君



前年皆さんこんばんは、伊勢でございます。遅くなりましたが、少しお時間を頂き、お話をさせていただきます。

私の職業の獣医師の詳細について少しお話しいたします。

皆さんが1番にイメージするのが、私のような、都市部での動物病院の先生、地方部では、家畜関係を診る、産業獣医師を思い浮かべると思いますが、実は、公務員が非常に多いのです。まず、農林水産省ですが、ここに入っている仲間が何をしているのかと言うと、主に農家の畜産指導、品種改良を行っております。あと、重要なのは、検疫業務です。これは、海外から入ってくる、動物たちに日本に入ってはいけないウィルス、細菌などの侵入を防ぐため、日夜頑張っております。

続いて、厚生省、こちらに入っている仲間は、主に狂犬病の予防、一般食品の管理を行っており、環境省に入っている仲間は、絶滅危惧種の動物達を絶やさない様に維持して行くと言う事を行っており、この近くでは、丹頂鶴の保護を行っております。また、今盛んに行っているのは、佐渡のトキの保存も仲間が頑張っております。水産省の方では、実は魚も我々の仲間が診る訳でございます、魚の病気を防ぐために、抗生物質を投与するのですが、それは、我々獣医師でなければ行えない事なのです。皆さん、意外だと思われると思いますが、水産の方まで、我々の仲間が係わっております。あとは製薬会社、これは実験動物を飼っておりますから、薬がその動物にどういった影響を及ぼすのかを調べる事が有りますので、そこでも仲間が活躍しています。その他に、酒類メーカーにも仲間がいます。発酵を行うのに、微生物を使いますので、この微生物も我々の分野になります。

我々、獣医師は動物だけではなく、人間の方にも深く係わっています。皆さんの身の回りにも係わっているのだと、理解していただければ幸いです。

お時間が来ましたので、以上で終わりたいと思います。

ありがとうございました。

佐渡会長とご入会5名の皆様

